

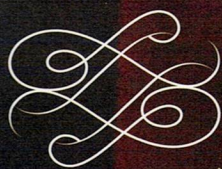
市川市文化会館リニューアルオープン記念公演

春のうたごえ

オペラ

カヴァレリア ルスティカーナ

PIETRO MASCAGNI : CAVALLERIA RUSTICANA



スターバト・マーテル No.1、No.10

GIOACHINO ROSSINI : STABAT MATER NO.1 NO.10

2023 **3/5** 日 開場14:00
開演15:00
市川市文化会館 大ホール

2次元コードよりアンケートへのご協力をお願い致します。
抽選で10名様にチケット補助券をプレゼント！(回答期限：3月7日)



ジョアキーノ・ロッシーニ

スターバト・マーテルNo.1、No.10

Gioachino Rossini : Stabat Mater No.1 No.10

休 憩

ピエトロ・マスカーニ

オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」

Pietro Mascagni : Cavalleria Rusticana

指揮：柴田真郁

演出：藪西正道

合唱指導：西野薫

サントゥッツァ：内田智子

トゥリッドゥ：工藤和真

アルフィオ：岡昭宏

ローラ：安江秋

ルチアマンマ：和田美樹子

合唱：オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」市民合唱団

オーケストラ：市川交響楽団



「カヴァレリア・ルスティカーナ」あらすじ

19世紀半ばのシチリアの農村。復活祭の日。村の青年トゥリッドゥは美しい女ローラに恋していたが、彼の兵役中に彼女は馬車引きのアルフィオと結婚してしまった。除隊して村に戻ったトゥリッドゥは、村の娘サントウツァと婚約するが、ローラのことが忘れられず、アルフィオの目を盗んで密会を繰り返していた。2人の関係を知ったサントウツァはトゥリッドゥを問い詰めるが、嫉妬深い女だと罵倒される。思いあまった彼女は、アルフィオに2人の不倫を打ち明けてしまう。アルフィオは激怒し、復讐を誓う。

教会のミサの後、村人たちが乾杯しているところへアルフィオが登場。彼はトゥリッドゥの差し出すグラスを拒み、2人は決闘を申し合わせる。トゥリッドゥは母にサントウツァの行く末を頼み、決闘場へ。やがて女の悲鳴が聞こえ、彼の死を告げる。



©T.Tairadate

柴田真郁

指揮

1978年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。2003年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04年にウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロムを取得。修了演奏会でヴィディン・シンフォニーオーケストラ(ブルガリア)を指揮した。同年末には、ハノーファー・ジルベスター・コンサート(ドイツ)に客演し、プラハ室内管弦楽団を指揮。翌年末のベルリン室内管弦楽団にも客演、2年連続でジルベスターコンサートを指揮して大成功を収める。2005年、リセウ大歌劇場(スペイン・バルセロナ)のアシスタント指揮者オーディションに合格し、セバスティアン・ヴァイグレ、アントニー・ロス＝マルバ、レナート・パルンボ、ジョセップ・ヴィセント氏等のアシスタントとして、様々な演出家や歌手と携わり上演で大きな信頼を得た経験は、オペラ指揮者としての礎となっている。

帰国後は主にオペラ指揮者として活動し、2010年、池辺晋一郎「死神」で日本オペラ協会にデビュー。同年、五島記念文化財団オペラ新人賞を受賞して研修生として再度渡欧し、イタリアの劇場を中心に研鑽を積んだ。

最近では18年にマスネ「ナヴァラの娘」(日本初演)、19年にプッチーニ「ラ・ボエーム」、20年にはヴェルディ「リゴレット」、21年にはベッリーニ「清教徒」をそれぞれ藤原歌劇団と共演。22年には日生劇場にて「ランメルモールのルチア」を指揮し、好評を博す。堺シティオペラ、新国立劇場オペラ研修所等でも指揮。しなやかでありながらドラマティックな音楽作りには定評がある。

近年では管弦楽にも力を入れており、読響、東響、東京フィル、日本フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、日本センチュリー響、大響、群響、広響、兵庫芸術文化センター管等を指揮。

指揮を十束尚宏、星出豊、ティロ・レーマン、サルバドル・マス・コンデの各氏に師事。平成22年度(2010年)五島記念文化財団オペラ新人賞(指揮)受賞。現在、大阪交響楽団ミュージックパートナーを務める。

オペラ合唱団 市民革命?!

本日はご来場いただきましてありがとうございます。

この公演は3年前の3月に本番を迎える予定でしたが本番直前にイベント等の規制が始まり中止となりました。

しかし市川市文化振興財団のおはからいで本日の公演を迎えることができました。

この公演のために財団が再度合唱団員を募集したところ、新規参加者10名を含め、約100名の方がコロナ禍にもかかわらず応募して下さいました。稽古は昨年10月から始まりました。最初の数回は音楽だけの稽古の予定でしたが、それとともにステイホームの影響か?記憶力、集中力、体力の向上も同時に行わなければならませんでした。3年ちかく歌っていなかったので無理ありません。

稽古を通して、皆様が音楽、発声、演技、人生経験?それぞれに個性豊かな才能多き方々だと再認識しました。

市民オペラでは合唱団には演技面での要求はありません。

私が留学中イタリアのピアチェンツァで観た「カヴァレリア・ルスティカーナ」も、合唱は市民合唱団でした。声種ごとに整列して歌うだけの演出でした。

しかし、ここ市川の財団は本番の会場を練習場として提供して下さいだったので、こんな贅沢な稽古環境はない、これならば合唱団に動きを付けた演技も充分にできると思い、合唱団中心の演出をすることに決めました。

動きを付けると隣には常に違う声種のかたが来ることになり、音楽面でも難しいことが要求されるのです。

演技稽古では、舞台でまっすぐ立つこともできない可愛いオジサンたちはお腹を引っ込めることに苦戦。一歩足を出すだけでも苦戦。アルフィオ親分を迎えるシーンでは、清水次郎長一家の様に“お控えなすって”姿に大笑い。一方、女性たちは会話をしている演技を、とお願いすると“ねーねー”と首を縦にふり、同意を求めるポーズを・・・これって井戸端会議??

これは本当にオペラの稽古なのか?と思う瞬間も多々ありました。

しかし団員の方々はベートーヴェンの「第九」を歌う100倍もの労力が必要とする演技練習にも立ち向かいました。

オペラをイタリア語で歌うだけでも大変なところ、歌唱技術的にも難しいロッシーニの「スターバト・マーテル」も覚えて歌って頂くことにしました。

合唱団が演じる役柄は原作者ジョヴァンニ・ヴェルガの故郷、シチリア島のヴィツィーニ村の貧しい人々です。当時は地主の貴族はナポリカパレルモなどの大都市に住み、村人たちに土地の管理を任せていました。

今とは違い何も無い時代に、復活祭は村人総出の大イベントでした。その生き生きとした姿を愛好家合唱団の方々はきっと演じてくれると思います。

オペラは演奏者とお客様が一体となって、はじめて創られます。

オペラに造詣の深い方は温かく見守って下さい。

初めてのお客様は感動したら是非、拍手やブラヴォー(政府のお許しが出たので)掛け声をかけて下さい。

では、市川発のイタリアオペラお楽しみ下さい!

最後になりましたが市川市文化振興財団の皆様、そして舞台スタッフの皆様にご心より感謝するとともに、市川市にオペラの公演の伝統が引き継がれることを願います。

藪西正道



藪西正道

演出 MASAMICHI YABUNISHI

東京藝術大学声楽科卒、及び同大学院修士課程オペラ科修了。イタリアに留学。イタリア・テルニ国際声楽コンクール優勝。フィレンツェ歌劇場新人オーディション第2位。オペラ「ドン・ジョヴァンニ」、「椿姫」、「蝶々夫人」、「ボエーム」、團伊玖磨指揮による「夕鶴」、「フィガロの結婚」、「セヴィリヤの理髪師」などレパートリーは60役を超える。国外に於いては、イタリアのテルニでオペラ「トスカ」、ハンガリーのブダペストのスプリング・フェスティバル・コンサートにも出演。東京藝術大学講師、武蔵野音楽大学等講師、聖徳大学准教授、二期会オペラ研修所講師等勤める。2011年文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業の一環で、(財)石川県音楽文化振興事業団 石川県立音楽堂オーケストラ・アンサンブル金沢 第312回定期公演オペラ「ヘンゼルとグレーテル」演出、シアターカイのモーツァルト・オペラシリーズ「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」、「コジ・ファン・トゥッテ」の演出、子供と大人と一緒に楽しむオペラ「小さな魔笛」、「奥様になった女中」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」等を演出し、劇場空間を最大限活かしたと好評を得、舞台プロデュース・オペラ演出家としても活動する。旧岩崎邸野外公演オペレッタなども手掛ける。二期会会員、平成7年度文化庁インターンシップ研修生、日本演奏連盟会員、クオーレ・ド・オペラ実行委員。



西野 薫

合唱指導 KAORU NISHINO

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。イタリアへ留学。読売新人演奏会出演。NHK 新人洋楽オーディション合格。1994年モーツァルト日本音楽コンクール第1位。日本声楽コンクール第2位及び田中路子賞を受賞。1996年奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。ジュネーブ国際コンクールセミファイナリスト。スイスにてヴェルディの夕べに出演、ボン迎賓館でのリサイタル、チェコフィルとの共演、ミラノにて「リゴレット」ジルダ役出演。藝大在学中から天性の美声と音楽性は際立っており藝大創立100周年記念オペラ公演「オルフェオ」アモレー役、藝大新奏楽堂こけら落とし公演オペラ「魔笛」パパゲーナ役、新国立歌劇場「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル役、二期会本公演「コジ・ファン・トゥッテ」デスビーナ役等、数々のオペラに出演の他、東フィル午後のリサイタル等コンサートにも数多く出演。またNHK・FM午後のリサイタルなどにも出演。二期会会員、市川市市民文化奨励賞受賞、NPO法人ムジカ・フレスカ理事、早稲田大学にてイタリアの作曲家プッチーニに関する特別講義も開催。日本橋街大学の一環として三越にて、月1回オペラ啓蒙の講座も現在担当する。クオーレ・ド・オペラ実行委員、ケイ・アーツ代表。

内田 智子

サントウツツア

青森県八戸市出身。東京藝術大学大学院修士課程音楽研究科独唱専攻修了。声楽を田野崎加代、勝部太、藪西正道の各氏に師事。日本歌曲を塚田佳男に師事。第81回読売新人演奏会出演。平成29年度奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第2位及び木下記念賞銀メダル受賞。クオーレ・ド・オペラ「修道女アンジェリカ」でタイトルロールデビュー。これまでに「椿姫」ヴィオレッタ役、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリーゼ役、「ラ・ボエーム」ミミ役、「道化師」ネッダ役などで出演。

日伊国交樹立150年記念事業として代表歌手に選出され、国際交流基金の助成を受け、ローマ日本文化会館とクラウディオ・アッパード音楽院でのオペラコンサートに出演。東京二期会オペラ劇場オペレッタ「メリー・ウィドウ」にシルヴィア・アース役、東宝ミュージカル「笑う男」にアン女王役で出演。NIKIKAI Days2021ではオペラ「光太夫」にソフィア役で出演。

シリアスな役からコケティッシュな役までこなし、様々な舞台で活躍中。クオーレ・ド・オペラ所属。二期会会員。

第27回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール声楽部門優秀賞。

工藤 和真

トゥリッドウ

岩手県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修了。声楽を小原一穂、佐々木朋也、市原多朗の各氏に師事。第33回練馬区新人演奏会オーディションにて最優秀賞を獲得。第1回かわさき新人声楽コンクール第1位。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回日伊声楽コンクール第1位、及び歌曲賞（岡部多喜子・嶺貞子賞）を受賞。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位（最高位）、及び聴衆賞を受賞。東急ジルベスターコンサート2019-2020ではベートーヴェン「交響曲第九番」テノールソリストとして出演。オペラではマスカーニ作曲「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドウでデビューを果たした。これまでに「椿姫」アルフレード、「トスカ」カヴァラドッシ、「カプレーティとモンテッキ」テバルド、「ナブッコ」イズマエーレなどで出演。

第28回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール声楽部門優秀賞。

岡 昭 宏

アルフィオ



香川県出身。国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。東京藝術大学大学院声楽専攻修士課程修了。新国立劇場オペラ研修所第10期生修了。平成22年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生としてイタリア、ジェノヴァに国費留学。イタリア国立音楽院ニコロ・パガニーニにてL'arte scienicaを学ぶ。2010年にはPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に参加し、「ラ・ボエーム」マルチェロ役にて世界的指揮者であるファビオ・ルイーギ氏と共演。2012年イタリア、ジェノヴァにて「ドン・カルロ」のロドリゴ役にてイタリアデビューを果たす。藤原歌劇団においては「愛の妙薬」ベルコーレでデビューし、これまでに「道化師」シルヴィオ、「清教徒」リッカルド、「蝶々夫人」シャープレス、「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモを演じる。2023年2月には日本オペラ協会主催「源氏物語」において光源氏役にて出演。

第26回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール声楽部門最優秀賞。

安 江 秋

ローラ



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科声楽(オペラ)修了。声楽を、稲葉明子、三縄みどり、櫻田亮、佐野正一各氏に師事。大学卒業時に松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞受賞。第85回読売新人演奏会出演。東京国際芸術協会第66回新人演奏会オーディションにて優秀新人賞受賞。コンセール・ヴィヴアン新人オーディションにて優秀賞受賞。東京二期会オペラ研修所第62期マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。横浜市民広間演奏会会員。二期会会員。これまでに「コジ・ファン・トゥッテ」デスビーナ、「愛の妙薬」ジャンネッタ、「フィガロの結婚」バルバリーナ、「第九」、「メサイア」ソプラノソリスト等で出演。

第30回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール声楽部門優秀賞。

和 田 美 樹 子

ルチアマンマ



国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻オペラ・コース修了。東京二期会オペラ研修所第63期マスタークラス修了、修了時に優秀賞受賞。声楽を荒牧小百合、経種廉彦、加納悦子、藪西正道の各氏に師事。2021年5月、二期会ニューウェーブ・オペラ「セルセ」アマストレ役で東京二期会デビュー。これまでにオペラ「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役、デスビーナ役、「椿姫」アンニーナ役、「ジャンニ・スキッキ」ツィータ役で出演。2022年2月には、ダンスブリッジ2021 中村蓉監修公演『ノベルの衝動2』 向田邦子著『花の名前』に出演。ケイ・アーツ・オフィス所属、クオーレ・ド・オペラ所属、二期会会員。

公演に際してのご挨拶

本日はお忙しい中、「春のうたごえ オペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』」にお越し頂き、厚く御礼申し上げます。私達合唱団は、2019年7月に結成され、翌年3月の公演に向けて練習を続けて参りましたが、感染が急拡大した新型コロナ感染症により開催直前で無念の公演中止となりました。それからの長い時を経て昨年漸く練習が再開され、ついにこの日を迎えることができた次第です。再び集えた者、集えなかった者、そして新たに集った者。3年の時はまさに時の流れを感じさせるものでした。

舞台上上がるに当たっては、演出の戴西正道先生、合唱指揮の西野薫先生、そしてマエストロ柴田真郁先生のご指導の下、一人一人が扮するイタリアの農民達の当時の生活ぶりに思いを馳せることも重要でした。宗教的には保守的で、未婚のまま子を宿したサントゥツァには厳しい視線を浴びせる一方、規律の緩む復活祭の日だけは、若者は澁漑と青春を謳歌し、世代が上の者は微笑ましくそれを見守ります。物質的には決して恵まれず、馬車屋のアルフィオが便りや商品を持ち帰ってくれるのを心待ちにし、トゥリッドゥがワインを振舞ってくれば歓声を上げて喜びます。決闘がなお社会に残り、いざとなれば仲間同士でも容赦をしません。

そんな人間ドラマに満ち溢れたシチリアの農村ならではの光景を、合唱はもちろん演技も含めて表現することが私達の課題でした。本日の公演の出来栄はいかがでしょうか。皆さまに私達の思いが伝わることを願うと共に、本日の公演へのご来場を心から感謝申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

合唱団長 田島正広

●団長 ○副団長 ★パートリーダー

S O P R A N O

青 山 裕 子	荒 川 靖 子	池 田 晴 美	板 谷 朋 子	内 田 栄 子	岡 戸 由 美
小 川 真由美	片 桐 民 子	菊 地 諄 子	小 暮 美 和	五 島 亜紀子	★酒 井 玄 枝
佐 藤 和 江	佐 原 明日子	菅 田 よ し	杉 浦 ひろみ	高 岡 久仁子	高 田 三千代
多 田 博 子	田 中 千鶴子	近 田 沙智子	寺 西 節 子	鳥 飼 暁 子	永 井 由美子
橋 爪 英 子	早 坂 仁 美	藤 川 玲 子	増 田 洋 子	丸 山 美千代	宮 島 みづき
八 木 静 子	山 寄 松 美	山 寄 真 成	山 崎 美和子	渡 辺 裕 子	

A L T O

海 野 真 弓	岡 本 恭 子	笠 原 はるみ	金 子 雅 子	北 川 さかえ	熊 谷 良 子
斎 藤 由紀子	佐 藤 幸 子	篠 田 妙 子	首 代 智 美	★高 橋 みどり	戸 田 絵 麻
野 村 久美子	長谷川 康 子	宮 島 あづさ	山 本 カヨ子	渡 辺 せいら	

T E N O R

石 川 正 明	石 原 光太郎	大 川 栄 二
岡 野 嘉 久	斎 藤 功	★佐 藤 輝 彦
下 川 馨 史	戸 田 昭 紀	森 島 敏

B A S S

宇賀神 年 男	大 畑 仁 史	○勝 亦 竜 大
川 口 忠 康	★小 暮 貴 弘	菅 野 達 也
●田 島 正 広	浜 芳 樹	★船 橋 正 弘
堀 尾 芳 哉		

アンサンブルエキストラ

ソプラノ	飯 塚 恭 子	大 川 悠貴子	金 田 秋 果	山 本 早 苗
メゾソプラノ	菊 池 未 来	田 中 未 来	宮 田 優	
テノール	江 頭 隼	河 野 大 樹	村 田 耕太郎	
バリトン	新 井 健 士	伊 東 達 也	下 牧 寛 典	

オーケストラ／市川交響楽団

市川交響楽団(いちきょう)は千葉県市川市を活動拠点として1951年に発足したアマチュアオーケストラで「クラシック音楽の演奏による地域文化振興活動」を実践している文化団体です。

市川交響楽団の主催演奏会はそのほとんどを入場無料で行い、多くの入場者、支援者を得て年2回市川市芸術祭参加のもと定期演奏会を行っております。そのほかの演奏会につきましても市川市文化振興財団主催公演、市川市芸術文化団体協議会舞台公演等に積極的に参加協力するほか、近年では団員有志による企画・運営を行う「フレンドシップコンサート」の開催や、小中学生にオーケストラ合奏の体験をしてもらう「ジュニアオーケストラ体験会」への応援協力などで市川市内の音楽文化振興に貢献しています。

市川交響楽団ホームページ:<http://ichikyo.org>



コンサートミストレス

立田 祥子

第1ヴァイオリン

石崎 俊信

岩田 徳子

大橋 一郎

佐分利 幸江

秦 一宜

細貝 春

松林 俊

三野 彰久

山本 芳功

渡辺 綱介

第2ヴァイオリン

石本 恵理

大橋 かおる

桑原 啓輔

滝澤 葉子

富田 八江子

中野 さゆり

早川 貴子

牧田 太郎

溝田 範子

武藤 敦子

渡辺 惟

ヴァイオラ

内田 綾美

園田 陽子

高橋 陽介

谷口 善樹

奈良林 弘子

星 乗昭

チェロ

泉谷 良枝

倉澤 倫子

倉澤 由和

福原 耕二

八重樫 妙子

コントラバス

上村 啓介

神代 順子

上山 優子

番場 仙嘉

フルート

秋山 愛美

二木 陽子

ピッコロ

佐藤 洋行

徳重 京子

オーボエ

二村 直子

古澤 恵子

クラリネット

秋永 直美

半藤 嗣人

ファゴット

遠藤 由紀子

金坂 哲

ホルン

上田 麻未

嶋村 恒夫

武井 綾香

林田 朋子

トランペット

田崎 真二

八木 巧次

トロンボーン

石黒 弘道

藤平 一仁

藪崎 裕至

テューバ

渡邊 鐵雅

打楽器

鈴木 充

都筑 裕

時田 裕

和田 英恵

オルガン

青木 彩音

ハープ

大木 理恵

練習指揮

鏑木 蓉馬

神成 大輝



神成大輝

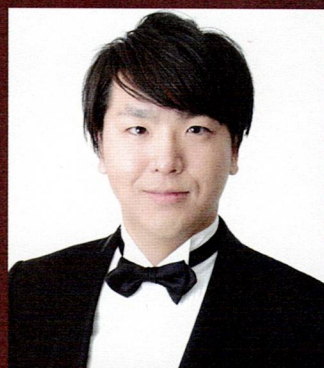
副指揮

DAIKI
KANNARI

茨城県守谷市出身。

5歳からピアノを、12歳からファゴットをそれぞれ始める。また、14歳から合唱およびオーケストラの指揮を始める。その後、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラに所属し、松尾葉子氏の指導のもとオーケストラと指揮について学ぶ。15歳から松浦修氏に師事。鈴木織衛氏のレッスンを受講する。2015年、東京藝術大学音楽学部に入學し、高関健氏、山下一史氏に師事。尾高忠明氏、ジョルト・ナジ氏、ラースロー・ティハニ氏のマスタークラスを受講する。

在学中に「宮田亮平奨学金」、安宅賞を受賞。また、同大学指揮科を首席で卒業すると同時に、同声会賞、アカンサス音楽賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞するほか、2019年4月の新卒業生紹介演奏会に選出され、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。シベリウスの交響曲第7番を演奏する。2021年4月、同大学大学院音楽研究科指揮専攻の修士課程を修了。



江頭 隼

演出助手

SHUN
EGASHIRA

宮城県名取市出身。山形大学地域教育文化学部音楽芸術コース卒業。山形大学YCMオペラ公演「フィガロの結婚」、「コジ・ファン・トゥッテ」、「ドン・ジョヴァンニ」、山形オペラ協会「こうもり」、「ジャンニ・スキッキ」に出演。またドヴォルザーク「ミサ曲ニ長調(オルガン伴奏版)」等のソリストを務める。他にも両国シアターX主催「ラ・ボエーム」、「椿姫」などに出演する。クオーレ・ド・オペラでは第1回公演からキャスト・合唱として出演する。2019年7月に「コジ・ファン・トゥッテ」を初演出し好評を得る。二期会準会員。クオーレ・ド・オペラ所属。

高田和文

字幕

KAZUFUMI
TAKADA

静岡文化芸術大学名誉教授。ナポリ東洋大学講師、在イタリア日本大使館専門調査員、ローマ日本文化会館館長などを歴任。著書に「話すためのイタリア語」(白水社)、アンドレア・ボチエリ自伝『沈黙の音楽』(早川書房)ほか。ダリオ・フォー、カルロ・ゴルドーニなどイタリア喜劇作品の翻訳により湯浅芳子賞を受賞。クオーレ・ド・オペラ顧問。2022年10月よりNHKラジオ・イタリア語講座応用編担当。

企画・制作・舞台技術

公益財団法人市川市文化振興財団

舞台監督

公益財団法人市川市文化振興財団 山本勝己

制作協力

AZAMIY 音楽企画 岸本伸子

ヘアメイク

きとう せいこ

衣裳協力

株式会社エフ・ジー・ジー

コレペティートル

大貫瑞季

練習ピアニスト

原田玲奈

大道具操作

ユニワークショップ 古堅勇

字幕操作

株式会社アルゴン社

協力

市川交響楽団協会 / 市川市合唱連盟

合唱団の歩み

2019年7月に合唱団が結成され、約30回にも及ぶ練習を行ってきたが、2020年3月8日の本公演直前に、新型コロナウイルス感染症の影響で公演中止。2020年10月から1年半に及ぶ市川市文化会館の改修工事を経て、2022年4月のリニューアル後に、約2年振りに合唱団の顔合わせを実施。2022年10月5日から本格的に練習を開始。本公演まで26回の練習を経て本日の公演を迎える。



2020年3月8日公演チラシ

本公演チラシ



3年前を思い出しながら、まずはパート練習。
マスクの着用、扉を解放し、間隔を取っての練習がスタート。



ソリストが加わり、11月より立稽古が開始。



マエストロの指導も始まり、3年越しの本番を控え練習にも熱が入ります。



通し稽古、オケ合わせ、ゲネプロを経て、いよいよ今日が本番！

CAVALLERIA RUSTICANA PIETRO MASCAGNI



STABAT MATER NO.1 NO.10 GIOACHINO ROSSINI

●ご来場のお客様へ

本日はご来場いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下のご協力をお願い致します。

- ・館内ではマスクを着用のうえ、対人距離を十分に開けてお過ごしください。
- ・出口での混雑を避けるため、終演後はお出口に近い方から順番にお帰りください。

その他ご協力をお願いする場合がございます。ご了承ください。

お客様による写真撮影、動画撮影、録音はご遠慮ください。携帯電話・スマートフォン等お持ちの方は、電源をお切りになるかマナーモードにするなど、音が出ないようにご配慮をお願い致します。

公益財団法人 市川市文化振興財団 <https://www.tekona.net/>

市川市文化会館



てこなホール
市民から選ばれた愛称です。